

4. 地区ミーティングダイジェスト



第1回地区ミーティング

6月から地区ミーティングが始まりました。各地区からたくさんの方が足を運んでくださり、活発な話し合いとなりました。地区ミーティングの様子について紹介します。

1. 地域福祉計画についての説明後、先日の市民研修で見た鹿児島県「やねだん」集落の村おこしのDVDを見ました。

「地域福祉」というと、みなさんはどんなイメージを持つかな？
地域福祉は、毎日の暮らしのなかにある身近なことなんだよ☆



2. 身体を動かしてリフレッシュしたら、いよいよワークショップ！

- ①わたしのまちのいいところ
- ②身近で困っていること
- ③10年後半田がこうなったらいいな
- ④わたしたちにできること

についてそれぞれ1人1つ紙に書き、グループで意見を出し合ってもらいました。

い だんの
く らしの
し あわせ

子どもが安心して暮らせるまちになったらいいなあ



山車祭りは半田の
伝統文化だよね！



手芸が好きだから、みんなとおしゃべりしながら楽しみたいわ♪



お年寄りが歩いて行ける
スーパーがなくなったなあ

第1回目の地区ミーティングでは、地域のみなさんの意見をグループで語り合っていたきました。同じ地域に暮らす方同士、耳を傾け、うんうんとうなずく姿がたくさん見られました。このように地域の課題を共有したり、新たな発見につながる地区ミーティングとなりました。

第2回地区ミーティング

7月に行った地区ミーティングにも、たくさんの方が参加してくださいました。今回が初参加という方もたくさんいらっしゃいました。

今回は、第1回目で聞いた「身近で困っていること」を更に深めるためにワークショップを行いました。身近で困ったことを様々な視点から5つ挙げ、発表しながら共有しました。それらを同じ意図で書かれた項目でグループわけし、最後につながりを矢印で示しました。



「移動が困難」「子どもの遊び場が少ない」「マナーの低下」「地域のふれあいが希薄」等、様々な困ったことが挙げられました。グループで共有することで、自分と同じように困っている人がいるということが分かりました。また、「移動が困難」なことや「子どもの遊び場が少ない」ことで、「地域のふれあいが希薄」になっているのでは？というように、地域のなかにある一つひとつの困りごとが実はつながっているんだ！ということも話し合いをすすめる中でみえてきました。では、この困りごとをどのように解決に向けて取り組んでいけばよいのでしょうか？

商店街や空き家が増えたことであかりが少なくなって危険なのは？

こんなふうに地域で困っていることを分類してまとめました♪



第3回地区ミーティング

9月に開催した第3回地区ミーティングでは、下の写真にあるような2つのワークショップを行いました。今回はこれまでの地区ミーティングで深めてきた様々な困りごとの中から福祉に関するものを5つ挙げ、「いつ・誰が・どこの範囲」で困りごとを解決していくのかグループで話し合いました。

ワークショップ1では、それぞれの困りごとをどこの範囲で解決していくかを考えました。**市全体・中学校区・町内会**のどこか。また解決していく（先頭に立って進めていく）のは**地域住民・社会福祉協議会等・行政**の誰なのかを話し合いました。

ワークショップ1



ワークショップ2



地域の困りごとを分類したことで、それぞれの役割がみえてきました。また誰かがやってくれるのではなく、できることを出し合いみんなで協力していくことが大切だということもわかりました。

次回最後の地区ミーティングは、課題をポスターにし、わたしたちからの提案をしたいと思います。

ワークショップ2では困りごとをいつまでに解決しなければならないか、**短期(1~2年)**、**中期(3~4年)**、**長期(5年以上)**にわけました。最後に私たち地域のみみなですぐに解決していかなければならない課題を1つ決めました。



地域で解決していこう！

～参加者のみなさんからの提案～

- 隣近所の助け合い～見守り体制～
- 人付き合いを深め集える場所作り
- 一人暮らし高齢者の災害時の不安
- 隣同士つながりが少ない
- 子ども会が少なくなっている
- 歩道に雑草が多い

第4回地区ミーティング

1月に第4回地区ミーティングを開催しました。今回で最後となる地区ミーティングでは、半田市地域福祉計画の中間報告を行い、みなさんから感想やご意見をいただきました。また、地区ミーティングの集大成となるポスター作りを行い、わたしたちからの提案として発表しました。

報告の様子



中間報告では、地区ミーティング以外にも作業部会、市民研修で話し合われたことなどの説明を、スライドを見ながら報告しました。地域のみなさんからは「この報告をもっとたくさんの人に聞いてもらう機会をつくってほしい」といったご意見も寄せられました。

グループワークでは、

- ①課題の理由は？
- ②私たちにできることは？
- ③私たちが解決できないことは？
- ④解決できないことはどうする？

ということについてポストイットに書き、グループで話し合いました。

グループワークの様子



作成されたポスター



10年後の半田を想像しながら話し合ったことをポスターにしました。「笑顔」「愛」「つながり」といったキーワードが挙がり、グループごとに絵や折り紙、ポストイットを使って作成しました。その後、発表をしていただきました。



地区ミーティングを通して、私たちにできることはあいさつや声かけなど、日頃からのちょっとした心がけや少しの勇気だということがわかりました。一方で、人が一人ひとり違うように地域にも色んな特徴があってそれぞれ違うということもわかりました。これからも新しい形（ふくし井戸端会議（仮称））で地域のみなさんと一緒に話し合える場をつくり、仲間を増やしながら自分たちの暮らす地域の課題に取り組んでいきたいと思ひます。